

「白石町立中学校統合再編計画（案）」に係るパブリックコメントに対する対応状況

番号	ご意見の内容	ご意見への対応
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に、一礼してくぐるよう「くぐる門」を設置してはどうか。</li> <li>・人間は群れで生きていることを意識し、そのことを喜びに感じ、貢献したいと思うようにありたい。</li> <li>・日本人の良さや日本文化を知り、日本に自信を持たせることが大切。</li> <li>・郷土白石に「感謝の心」を抱くことが大切。</li> <li>・成績以外でも、思いやりや笑顔、継続する力や協調する力など、自信をもてることを一つでも見つけさせたい。それは人生を生き抜くための確かな力となると思う。</li> <li>・偉人の伝記に触れる機会を増やしたい。</li> <li>・職場体験について、職業の意義や苦勞、喜びを感じられる白石町ならではの業種にしぼって実施するべきではないか。</li> <li>・学校清掃の文化を大事にしたい。感謝の気持ちを清掃という形で表すとともに、雑巾や箒の使い方などの日本文化を継承させたい。</li> <li>・校訓を徳目の文章にし、毎朝斉唱させ、実践を心掛けさせる。</li> <li>・「給食」という表現ではなく、「学校食事」、「昼餉」とし、植物や生き物の命をいただくということ、食べ物に向かう時の心もちを学ばせたい。</li> <li>・先生方の「働き方改革」も町独自に力を入れて欲しい。</li> <li>・中国の言語の学習も必要だと思う。中国に対抗できる日本人の育成は急務だと思う。</li> </ul>	<p>教育に関する具体的なご意見・ご提案ありがとうございます。</p> <p>本町子どもたちには、たくましく育ち、社会性や協調性を養い、向上心、創造力を培い、生きる力を身につけて欲しいと考えています。ご意見として賜り、新しい学校づくり準備委員会（仮称）へつなげたいと思います。</p>
2	<p>1クラスの人数が40人近くになるのは多すぎる。体が大きくなる中学生には余裕のない空間になる。それではストレスもたまり、トラブルやいじめが増えるのではないか。また、生徒ひとりひとりに目が行き届いた指導がやりにくくなるのは明らかである。コロナ禍の今、空き教室があり、増設の必要がない今のままの3つの中学校を残すのが合理的ではないか。</p>	<p>1クラスの人数についてのご意見ありがとうございます。</p> <p>40人学級が現在の国の基準です。国は来年度から5年かけて、公立小学校に35人学級を導入する方向を示しました。新設中学校も国の基準に合わせたかたちで取り入れていく予定です。また、先生の目が行き届かなくなるよう、教育支援員の制度も引き継ぎ、手厚い支援ができるよう考えています。空き教室があるから、対応できないだけでなく、子どもたちのために学校の活性化を図ろうというのがひとつの目的です。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見への対応
3	<p>再編後の教職員数の合計は46人となり、今のままの3つの中学校の教職員数の合計68人から22人も減ることになる。生徒数は変わらないのに、教職員数が3分の1になると、先生方は多忙になるのではないか。また、先生一人あたりの生徒数が1.5倍になるので、生徒ひとりひとりに関わる機会や時間が減るのは明らかなこと。ひとりひとりに目配りのできるきめ細かな指導ができるのか。</p>	<p>教職員数についてのご意見ありがとうございます。</p> <p>現在の3中学校の教職員合計数より減りますが、学級数が増えることで、学級担任以外に余裕が出てきます。1校あたりの教職員数でいうと20人以上増えます。1教科に複数の先生の配置が可能になり、教育の充実が図られます。また、スタッフが増えることにより、教育相談の充実、たくさんの目で子どもたちを見るが可能になると考えています。</p>
4	<p>白石町教育委員会は、小中学校の適正規模について、「諸法令などを勘案すると、学校の学級数は12から18学級が望ましい」としている。しかし、学校教育法施行規則第41条には、「学級数は12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別な事情があるときはこの限りではない」と書いてある。今のまま小学校8校、中学校3校でもよいのである。むしろ、今のままの少人数学級で、ひとりひとりの子どもを大切に、行き届いた教育を、歴史と伝統のある自然がいっぱいの環境で、今後も続けていくことが、わたしたち地元の大人の責務ではないか。</p>	<p>学級数についてのご意見ありがとうございます。</p> <p>近年、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わり、社会性の獲得が弱まっている現状があります。その社会性を獲得するためには、多様な子ども同士のふれあいや友人関係を作ることができるようにすることが不可欠です。このことから、一定の規模の児童・生徒集団が確保されていることが望ましいと考えます。中学校においては、クラス替えができ、集団活動に活力があふれ、生徒相互間、教師と生徒間に様々な関わり合いができることなどを考え、12学級から18学級程度の規模を確保したいと考えます。また、手厚い支援ができるよう教育支援員の制度も引き継ぎます。</p>
5	<p>「統合再編ありき」ではなく、「統合再編するかどうか」をまず町民に聞くべきではないか。今回、中学校統合再編計画案の説明会が開催されたが、全体でも500人程度の参加者であった。多くの町民はこのことについて知らないのが現状である。これからの教育ばかりでなく町づくりにもつながる、このような大事なことを、内々で計画案を作り、それをあたかももう決まったかのごとく、町民に説明するのはおかしくないか。原点に立ち返って、「統合再編するのか、今のままで行くのか」を町民に聞くことを町当局、町教育委員会に求める。</p>	<p>学校の統合再編については、平成22年度頃から議会の一般質問で話が出ていました。また、第2次白石町総合計画を作る際の町民アンケートでは、現在の学校を維持して欲しい26%、早急に・将来的に統合54%の結果でした。そのこともあり、統合再編が必要であると判断しました。昨年度、町民、保護者等の代表からなる学校統合再編審議会を設置し、統合再編について審議し、答申を出していただきました。決して「統合再編ありき」で進んでいるわけではありません。今後も、町としても、あらゆる手段を使って周知していきたいと考えます。皆様にもご協力いただければ幸いです。ご意見ありがとうございます。</p>
6	<p>なぜ今、学校統合再編なのか。そのことに対する町民の意見をよく聞き、問題がどこにあり、真の解決方法はどこにあるのかをもっと町民の見解を基に共有することが必要だったのに、それがなく、とても綿密な計画が出され、町民の多くが戸惑っているのが現状ではなからうか。</p>	<p>今の本町の少子化、学校の現状を考え、将来を見据えて統合再編を考えています。子どもたちのよりよい環境づくりというのが一番の大きな目的です。子どもたちの教育環境を最大限整えるためにはどうしたらよいか、本町なりにできることを考えています。ご理解いただきたいと思います。ご意見ありがとうございます。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見への対応
7	<p>少子化によって小規模校が多くなっているのは全国的な現象である。それにより学校の統合再編が進んでいるが、それで少子化が止まったのかというとそうではない。学校を減らしても人口は回復していない。どこかでストップさせないと町勢の発展は望めないのではなかろうか。そういう議論が不足したままで、計画が実施されることには甚だ不安を覚える。</p>	<p>人口減少に係る問題についてのご意見ありがとうございます。</p> <p>学校統合再編は、子どもたちの教育環境を整えるために行うものです。本町の人口増については、学校の統合再編とは別のところで、町づくり全体として取り組みをしていかなければならないと思っています。教育委員会としては、本町に住みたい、本町の学校に通わせたいと思っていただけるような魅力的な学校を作ることを施策として考えています。</p>
8	<p>平成生まれ世代の子育てに、少子化を解決する期待が持てるのではないか。経済成長を経験した世代は、経済的に自立した人間になる教育を望んだ。一方、平成世代には、家族や地域のあり方をきちんと教え、次世代再生産にある生命や社会の尊さを理解させていくこと。平成世代は経済成長を知らず、現状維持を是認できる世代だと思う。</p>	<p>全国的に少子化傾向にある中、本町だけが出生数を増やすということは簡単ではありません。しかし、将来を考えると人口増は町の重要な課題です。魅力的な学校を作ることで、若い世代にとどまっていただく、本町に転入していただくのも可能だと思い、人口増・維持のひとつの施策として、学校の充実を考えています。ご意見ありがとうございます。</p>